

21st.century primitive huts/studio blank

t-residence in setagaya



t-residence in setagaya  
exterior  
hiroaki taki

photo:seiichirou otake



t-residence in setagaya  
studio 1  
hiroaki taki



t-residence in setagaya  
entrance  
hiroaki taki



t-residence in setagaya  
living dining  
hiroaki taki



t-residence in setagaya  
kitchen loft  
hiroaki taki



t-residence in setagaya  
night exterior  
hiroaki taki

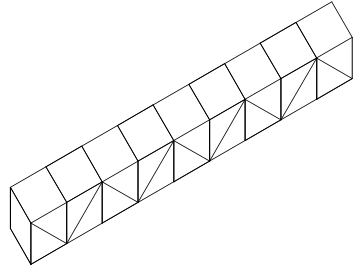


t-residence in setagaya  
night exterior  
hiroaki taki

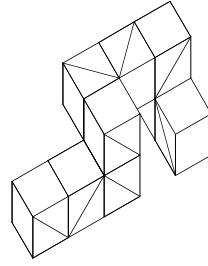
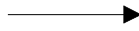
photo:seiichirou otake



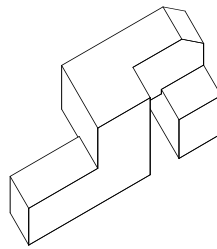
one room



fold

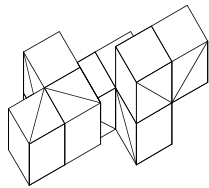
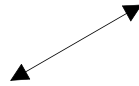


inside space



3-D one room

nega-positi



outside space

敷地は比較的ゆとりのある住宅地に位置し、敷地周辺の地形は南西方向に下っており、敷地も南北方向に1m程度の高低差がある。

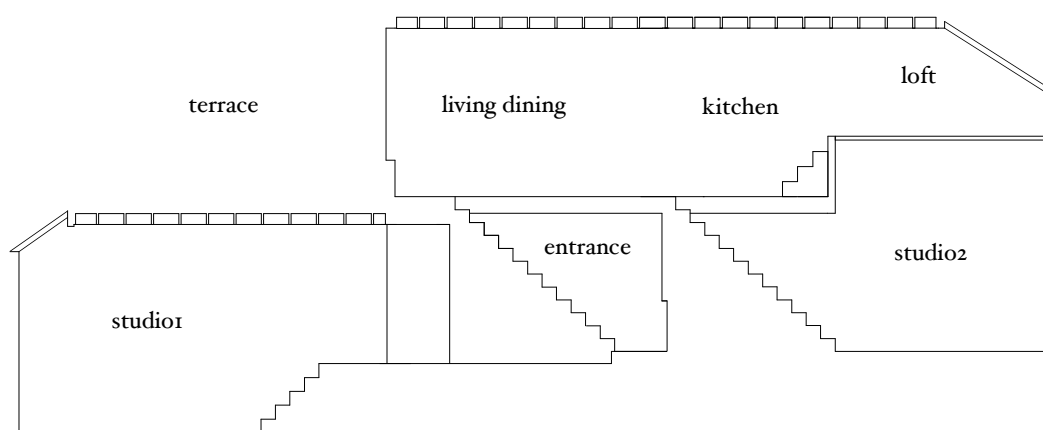
設計者の自邸であり、住居と仕事場をローコストで建設することが条件となった。将来的に予想される増員に対しては、増床スペースをあらかじめ見込んでいる。

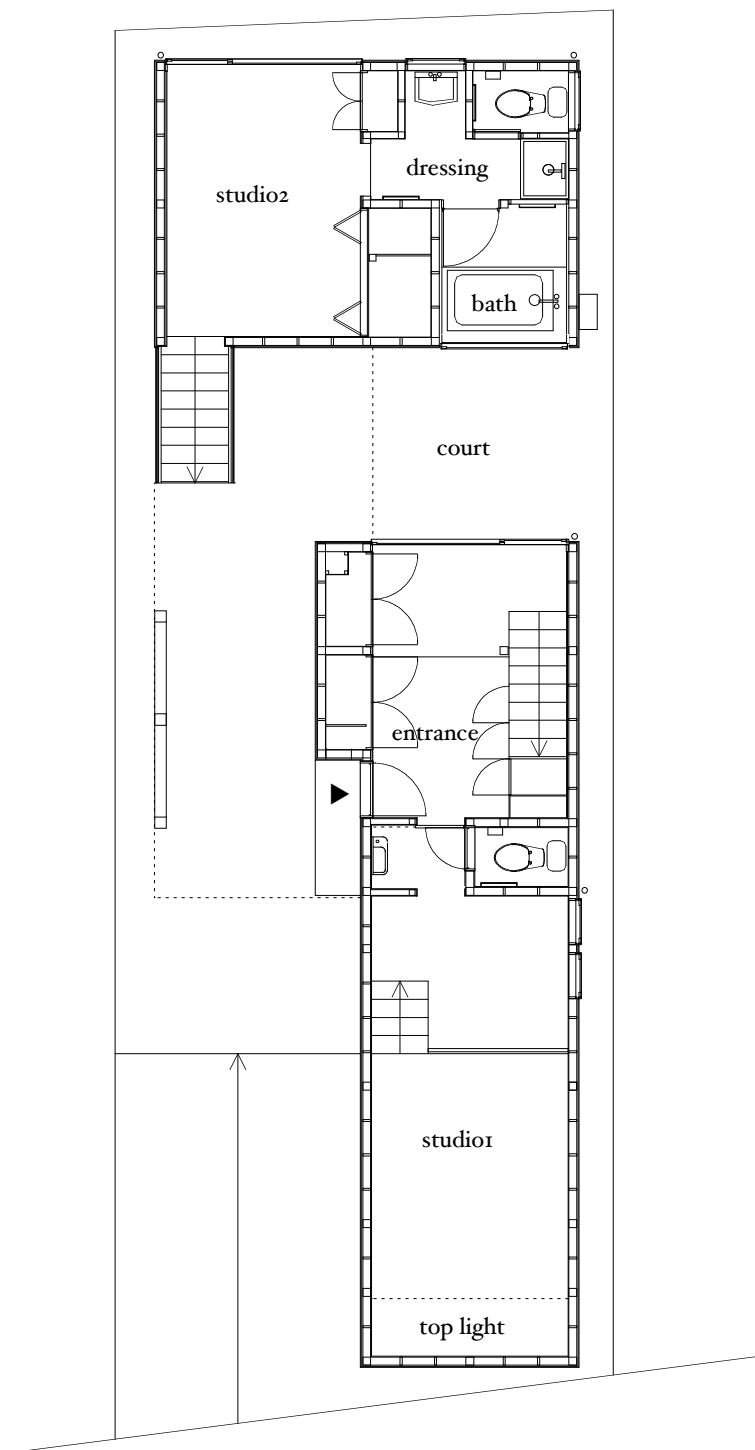
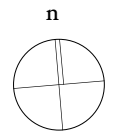
(2005年、寝室上部にロフト増設。さらに水回り上部に増築可能)

入居者が単身者なため、プログラムを単純化し、生活を1本の長いチューブに入れ込み、それを立体的に屈曲させることによって空間を分節する、3次元的ワンルーム・プランとしてみた。

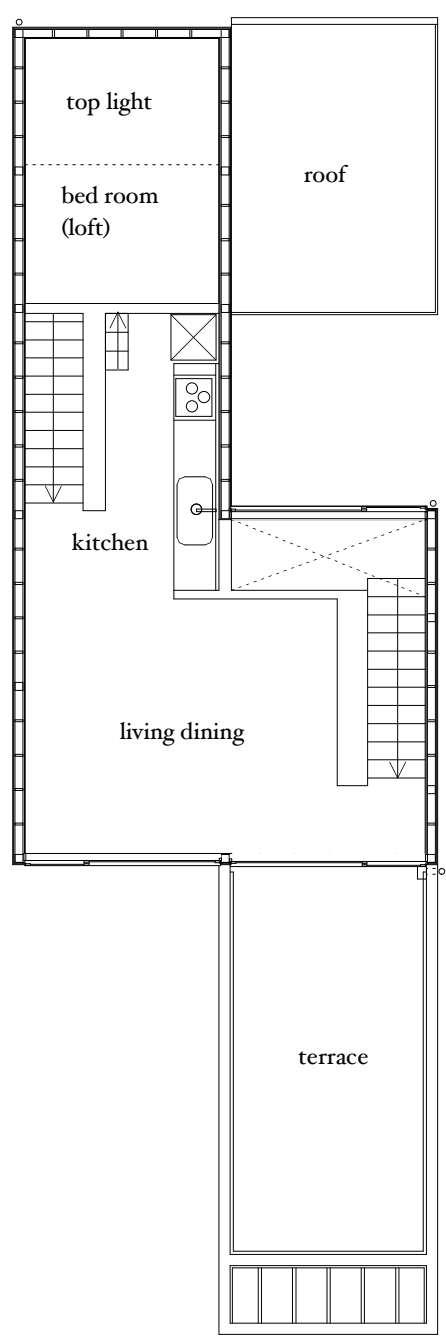
この手法により、内部が決まると同時に外部空間も決定し、あとは必要な箇所に開口部を設けて設計は終了。なるべく恣意的操作を避け、天井構造材を表わしにするなど、生活の「下地」となる「未完」の箱となるよう留意した。

なお入居後、ファサードの表情に難を感じ、現在は木摺によるスクリーンを増設している。



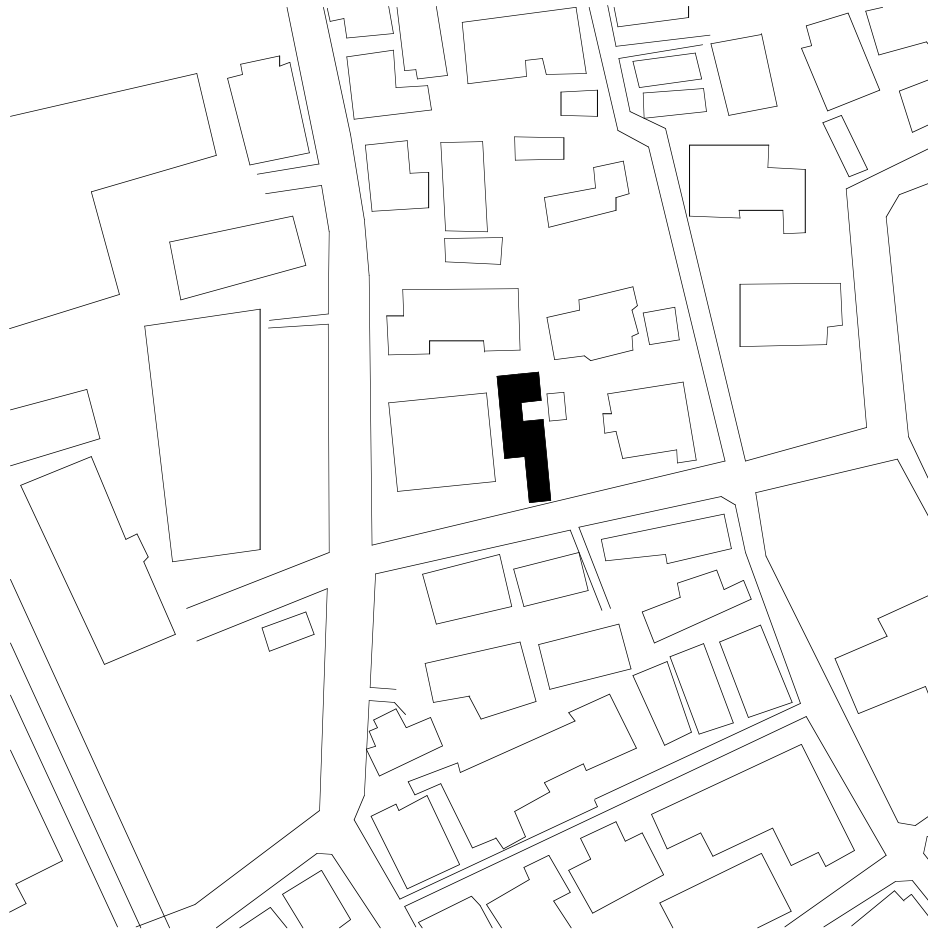


1f plan s=1:100



2f plan s=1:100

t-residence in setagaya  
plan  
hiroaki taki



site plan s=1:1000

■世田谷t邸

所在地/東京都世田谷区

主要用途/専用住宅

家族構成/単身のち夫婦

用途地域/第1種低層住居専用地域

建ぺい率/60%

容積率/150%

規模/敷地面積：120.98m<sup>2</sup>

延床面積：80.48m<sup>2</sup>

1階：50.91m<sup>2</sup>

2階：29.57m<sup>2</sup>

構造/木造軸組工法

総工費/1650万円

t-residence in setagaya  
site data  
hiroaki taki